

No. 39

1997

12月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
富田隆仁
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



敬老会

盛会だった文化祭・敬老会



作品展示(盆栽)



作品展示(手芸)

連日好天に恵まれた恒例の下市田文化祭・敬老会は去る十月十八日(出)・十九日(日)の両日、新装なった下市田区民会館で開催されました。区民会館が新しく生まれ変わって、昨年迄とは全く違った形の中での、作品展示等、若干心配もありましたが、結果は上々。

本年は、特に下市田史談会の皆さんの、長年の努力の成果も、一室を設けて公開していただき、一般の作品は、書・絵画・陶芸・手芸・生け花等、一九〇余人から二五〇余点が出品され、又屋外展示の盆栽は七人から二四点が出品されました。

又、本年のお楽しみコーナーは、区民会館前の芝生の広場で、体育部担当、誰でも出来るグランドゴルフのコーナーを設け、大勢の人達が楽しんでいました。又、敬老会は七十歳以上の方々五九二名を招待し、二〇五人の方の出席をいただき、表彰式には卒寿以上、米寿、喜寿の皆さん合せて七二人の方が表彰を受けました。

その後は日頃から練習に励んだ、一四のクラブの皆さんの舞台発表が行なわれ、極めて盛会裡に四時前にお開きとなりました。

下市田区新三役の紹介と挨拶

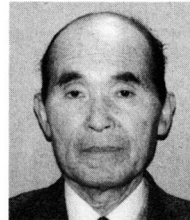
区三役の任期が、十月末で終了するので選挙管理委員会では十月十日までに、立候補者及び適任者の推薦の告示をしました。
十月二十四日に全区民による信任投票を行ない、新三役が決定いたしました。



区長 長 隆 仁
富 田

区民の皆様には御健勝の事と拝察致します。平成七年十一月から区長として、未熟をも顧みず勤めて参りました。その間区民会館の建設及び多目的広場の取得造成等、難しい問題が多くありました。委員の皆様をはじめ区民皆様の御協力を頂き大過なく過ごす事が出来ました。厚く御礼申し上げます。

又、この度の改選に当り、選挙管理委員皆様の推薦により、又、区民皆様の御許しを頂き未熟をも承知の上で御引受け致しました。
世の中の景気も悪く、低金利時代の波をもろに受け区の財政も極めて厳しい中、健全財政を常に心がけて参



副区長 眞 司 仲 平

今度の区三役の改選に当たり、計らずも副区長に再任され、恐縮し深慮を重ねましたがお受けしました。もとより浅学非力であり皆様の御指導を仰がねばなりません。下市田区の充実を目指し区の運営にたづなわって参ります。

最近の社会母相は時々刻々変化し、住民の心情、世代間の開きも多くなり、従って区への要望も多様であります。区民のコミュニケーションを高め、よき伝統は守り、時代に即応した施策を考へる区民の将来を見据え、区長を補佐し、明るいう下市

田区の形成に努め度いと考へて居ります。何卒宜敷くお願いします。



計 学 会 員
塩 沢

この度、区三役選に当たり再度任に就く事になりました。前任中は皆様方から戴いたご指導、ご協力に感謝申し上げます。

区の情勢について

区長 富田隆仁

区報三十九号発刊に当たり区の情勢を報告致します。過日の文化祭・敬老祭には皆様の御協力を頂き盛大に行なう事が出来ました。

健康センター研究委員会の研究結果について報告がありましたので要点のみ報告致します。皆様御承知の様に下市田河原黒沢下へ公共下水道の終末処理場施設が、地主さん及び近隣の皆様の協力に依り出来る様になりました。十一月七日安全祈願祭が行なわれ、工事が着手されました。平成十二年共用開始を目途に進行

今、国・地方を問わず経済や財政は大変な時期にあり今後もこのような傾向が続くであろうと言われております。区の財政も経済の変動、金利の低下等で大変な影響を受け厳しくなっております。こうした状況の中会計の責務をお預かりする事になり、尚一層気持ちを引き締めて任を果たして参りたいと思っております。前期に増して皆様方のご指導ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。

下市田区民会館 使用細則

(前文略)

- 一、区民会館使用に当たっては、事前に担当者(副区長)の許可を得なければならぬ。
- 二、使用時間は、原則として午前八時より午後十時までとする。
- 三、室内は禁煙とする。喫煙は、喫煙コーナーに限る。
- 四、館内の施設・備品・什器等は大切に取扱ひ、万一損傷した場合は速やかに管理者に報告しなければならない。場合によっては弁償の責めを求めることもある。
- 五、室内での飲食の場合は特に注意し、畳・床を汚さないよう配慮すること。
- 六、水道・電気・ガス・冬の暖房使用後の始末は完全に行なうこと。
- 七、使用後の片付けは、使用者全員の責任として完全に行なうこと。
- 八、使用簿は必ず記載すること。

致します。

その受入れ条件の一として健康センターを下市田区内に作る様町と関係者との間で約束されました。

その結果下市田区が研究の任を負い町と覚書を取り交わし、平成八年一月中旬研究委員会が発足しました。皆様方の御骨折りに依り報告書が提出されました。

委員の皆様は県内外数ヶ所を視察し、熱心に検討を重ねた結果、基本的な方向が出たので報告を頂きました。一、健康センター設置の基

本事項

- ①地域の住民や町民が気楽に利用出来る施設とし、営業的な要素は入れない。「町民の施設」、②全ての年代層が利用出来る施設とするが、内容は壮年・老年を主とした施設。
 - 二、運営主体について
 - ③全町民の施設とし、運営は町で行なう。④責任ある者が常時指導し、呆け防止、寝たきり防止等健康維持施設として位置づけるものとする。
 - 三、最低必要なもの
 - 現在ある福祉施設を補う物として、①温泉プール水中ストレッツ、②風呂マッサージ浴身のリフレッシュ
 - ③談話室・囲碁・将棋の出来る所、④交流や発表の出来る所や飲んだり出来る所
 - ⑤売店、⑥簡単な医療チェック
- 以上で終わりますが、委員皆様の御苦労に対して感謝を申し上げ、報告と致します。

委員会活動報告

水利委員長 古林 秀美

平成九年度事業報告について、平成七年より三ヶ年計画県単事業、牧の内堤（溜池）改修工事について、県下初めての転落事故防止のためのスタンド階段方式による最高施設工事が来年三月に完成となります。

(写真参考)

ひょうたん堤には、集落

防災安全施設、ネットフェンスが一六〇メートル取り付け終了しました。

新堤大丸山公園道路拡幅工事について、土手路肩工事も整備され完成しました。公共下水道工事第一期

区報編集委員会だより

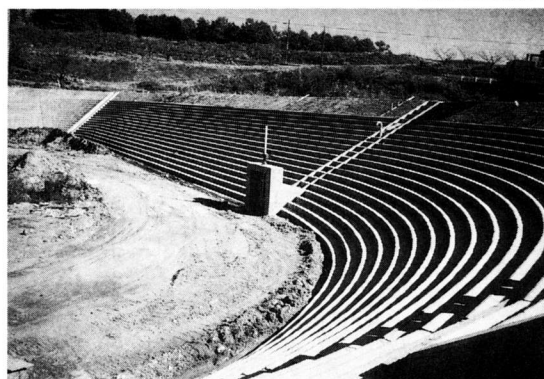
デンパークの旅

日頃は区報をご愛読下さいまして有難うございます。編集委員を命ぜられましてからすでに三号発刊する事が出来ました。初めは戸惑う事ばかりでしたが区民の皆様のお陰で区報を作る事が出来、感謝しております。恒例となっております編集委員の研修旅行を十月二

（二区・六区）着手となり、六区の場合は住宅密集地のため計画通りには進まず、下水・雨水路が支障して難工事で破壊され、現状復帰するよう工事関係者へ要望し、工事を進行しています。

継続事業として九年工事について、八割程度終了いたしました。十年度工事について各部落の提出地区計画より十一月のヒヤリング予算決定後、施行となりますので、地権

十五日、晴天に恵まれて、日本のデンマークと呼ばれた安城市に新名所として出来ました「デンパーク」へ行って来ました。デンマークの町並を再現した大温室や秋晴れの空に映える美しい花、なでやうりなど見とれてしまいました。一時外国にでも行った様な気分を味わう事が出来ました。これからも編集委員を宜しくお願い致します。



者及び地元の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。以上、水利委員会の活動報告といたします。

平成9年度下市田区一般会計前半期決算報告書

(平成9年4月1日～平成9年9月30日)

収入金計 31,148,287円
支出金計 19,766,851円
差引残高 11,381,436円

Ⅰ.【収入金の部】

項目	予算現額	決算収入額	比較(予算・決算)
1. 区費	15,520,000	7,885,390	7,634,610
2. 繰入金	1,420,000	61,590	1,481,590
3. 町支出金	1,200,000	7,920,794	- 6,720,794
4. 財産収入	1,680,000	157,670	1,522,330
5. 寄付金	800,000	258,890	541,110
6. 消防義務金	2,400,000	2,590,000	- 190,000
7. 諸収入金	1,300,000	1,044,402	255,598
8. 前期繰越金	6,500,000	11,352,731	- 4,852,731
収入合計	30,820,000	31,148,287	- 328,287

Ⅱ.【支出金の部】

(単位 円)

項目	予算現額	決算支出額	比較(予算・決算)
1. 総務費	12,560,000	5,241,485	7,318,515
2. 厚生費	570,000	88,000	482,000
3. 林務費	830,000	361,204	468,796
4. 土木費	6,210,000	9,559,677	- 3,349,677
5. 水利費	3,030,000	1,403,552	1,626,448
6. 消防費	2,795,000	773,150	2,021,850
7. 公民館費	3,010,000	1,800,000	1,210,000
8. 予備費	1,815,000	539,783	1,275,217
支出合計	30,820,000	19,766,851	11,053,149

平成9年度下市田公民館中間決算報告書

(平成9年4月1日～平成9年9月30日)

収入の部

科目	予算額	既収入額
1. 繰越金	165,000	203,219
2. 繰入金	3,010,000	1,800,000
3. 補助金	900,000	1,118,000
4. 雑収入	1,000	2,537
合計	4,076,000	3,123,756

支出の部

(単位 円)

科目	予算額	既支出額
1. 総務費	1,903,000	1,129,559
2. 教養部費	1,154,000	612,130
3. 体育部費	553,000	223,516
4. 視聴覚部費	278,000	138,829
5. 図書部費	107,000	81,000
6. 予備費	81,000	1,659
合計	4,076,000	2,186,693

平成九年度前期監査を終了して

監査委員会 市岡 治男

たいと思
います。
最初に

去る十月十七日、区及び
萩山神社、公民館の会計事
務監査の依頼があり、区の
監査規程に基づき実施させ
て頂きました。

先ず以って感じましたこ
とは、高森町の三分の一の
人口を有する大区、下市田
の管理には卓越した見識と
労力を要し、中でも今年の
場合は、区民会館の建設、
多目的広場の造成、公共下
水道と大型事業が重なり、
その掌に当たられた関係の
皆様に、改めて敬意を表す
と共にその労苦をねぎらい
ことを感じました。

次に七百年以上の歴史を
誇る萩山神社は、喜びにつ
け悲しみにつけ区民の精神
的支えとして崇拝され、畏
敬の念は区民の中にしっか
りと定着しております。又
その任にあたる氏子総代の
方々の気持が一致し、磐
石な体制で運営されている
ことを感じました。

最後に区民の一員として
ご理解頂きたいことの一つ
に区山の管理があります。
三十町歩余りの区山には、
植林された幼木も段々と美
林に成長しつつあります。
中でも成木近くになった松
林は下市田区の大きな財産
と云えましょう。森林資源

は輸入物に押され低迷して
いると云え、大島川の流域
を中心とする森林の持つ
保水力、空気の浄化作用は
お金に換算することのでき
ない偉大なものがあります。
目に見えないものだけに大
切にしなければなりません。
山作業への出勤要請とそれ

ふるさと祭りテント村から

服部満子

町制施行四十周年記念行
事の一環として、第十七回
たかもりふるさと祭りが、
十一月十五日・十六日の二
日間の日程で開催された。
前日の雨で心配された天
候も徐々に回復し、「実り
豊かな高森の秋……」のス
ローガンに相応しく盛大な
祭りとなった。

それに伴う不足金の徴収は、
関係者の頭痛の種です。是
非下市田区の財産維持のた
め、環境保護のためにご協
力頂きたいと思ひます。
総じて関係業務は円滑に
行なわれ正確に処理されて
いたことを紙面をお借りし
て報告し、終りと致します。

ガス台等の準備も整い、チー
ムワークも万全にて、愈々
おしるこ店開業となった。
こしあんより、絶対あず
きあんとかだわって決めた
だけあって味はとても好評。
時には行列が出来程の盛
況ぶり、途中で材料の調
達に行く場面もあったほど。
中には「今日三杯目」「二杯
目」という人達もいて、お
年寄りから子供までの「美
味しい美味しい」の声に心
を弾み、おしるこ作りに精
を出すことが出来た。

二千食近いおしるこ作り
を通じて、全員がコミュニ
ティの絆づくりに参加出来
「実り豊かな」二日間だっ
た。

前萩山神社宝刀と同じ『長光』の講演会

岡崎市瀧山東照宮蔵重要文化財『長光』の由来について

報告者

下市田区「長光」を尋ねる委員会委員長 北沢善二郎

去る十月十一日午後一時
から、「三河武士のやかた
家康館」の学芸員堀江登志
美先生をお願いし、下市田
区民会館で「瀧山東照宮と
太刀銘長光について」のお
話をお聞きすることができ
ました。

でもあるが、瀧山東照宮の
宝刀であるからです。」と
言われました。
岡崎と言えは家康の生ま
れ故郷であります。したがっ
て岡崎にも東照宮を建てる
必要があると言うことで、
この瀧山に建てられたそう
であります。正保三年九月
(一六四六) 本殿造営正遷
宮の際、三代將軍家光が奉
納したのがこの長船住長光
と言います。(後略)

先生は、開口一番「私の
やかたで最も大切な物と言
われれば『長光』とお答え
します。それは重要文化財

の太刀なのでした。多分、
家康から受け継いだ家宝
だったに違いありません。
長光は一二七四年から一三
二〇年まで作刀しています
ので、ここのお宮の彼は彼
作刀を始めて六年後の一二
八〇の作と言います。長光
には二人説がありますが、
いずれにしても初期のもの
と言います。(後略)

は輸入物に押され低迷して
いると云え、大島川の流域
を中心とする森林の持つ
保水力、空気の浄化作用は
お金に換算することのでき
ない偉大なものがあります。
目に見えないものだけに大
切にしなければなりません。
山作業への出勤要請とそれ

町制施行四十周年記念行
事の一環として、第十七回
たかもりふるさと祭りが、
十一月十五日・十六日の二
日間の日程で開催された。
前日の雨で心配された天
候も徐々に回復し、「実り
豊かな高森の秋……」のス
ローガンに相応しく盛大な
祭りとなった。
地域自慢コミュニティ、
テント村への出展は、吉田
地区(コミュニティ活動ビ
デオ放映、甘酒サービス)、
牛牧地区(土地利用と牛牧
の未来像を紹介、おやきの
販売)、竜口地区(地域が取
り組む自慢の産物の紹介、
加工食品の試食サービス)、
育苗会(パンジーの無料配
布)、ミュージカル(コー
ヒーサービス)等、地区・
グループが特色を生かし、

には下市田の歴史を
知ってもらおうと銘
打ったものばかり。
元禄元年、嘉永七年
の絵図、その他沢山
の古文書等種々あり
歴史に興味のある人
達の目を引いていた。
又、おしるこサー
ビスはコミュニティ
役員が中心となり、
婦人ふるさとの皆さ
んにも加わっていた
だきスタッフ作りが
出来た。材料調達、



下市田区 第14回 カラオケ大会

カラオケ大会に

参加して

北原清和・澄子



人前で歌う事など初めての経験で、ましてや夫婦でデュエットとは私達にとって、ものすごい出来事でした。結婚して十三年過ぎようとしている、そして私は厄年最後の年で無事に何事もなく終われば良いと思っていました処、大賞という

下市田区、視聴覚部、教養部の合同による、第十四回下市田区カラオケ大会が、去る九月二十七日(土)に、区民会館に於いて行なわれました。各代表の方々の熱唱の他、大勢の飛び入りの方等加わって、盛大な大会になりました。

審査の結果、次の方々が入賞されました。

◇カラオケ大賞

今を抱きしめて……北原清和・澄子 五区

◇歌唱賞

年輪……山崎巳達 高寿会

◇努力賞

恋……家苗 茂二 区

◇熱演賞

黒田節……大沢英幸(他) 水利委員会

◇審査員特別賞

時の流れに身を任せ……上沼好子 六区

すばらしい賞をいただき、厄落としをさせて頂きました。この処主人も私も、忙しさにわれ、夫婦で協力し合い何かをする、という事に縁遠くなっていた二人ですが、カラオケ大会出場にあたって、何日かボックスに通い、子供達からはあきれられました。が、「私もちよっとやるじゃん。」と思える今日この頃です。

カラオケ大会

出演の動機

山崎巳達

新井で仕事をしていると、車を止めて、小島さんが「オーイ山崎君、高寿会の役員会で今度公民館主催のカラオケ大会に出てもらう



敬老会に
出席して

小池彦四郎



敬老会に招待され、出席させて頂きました。

今年七十七歳、喜寿の年、区よりお祝品をいただき、厚くお礼申し上げます。

区長さん始め来賓の皆様方のご祝辞を受け、切々と感ずるものがあります。

喜寿という節目にあたって思うことは、長年に亘り浮き沈みはあったけれども其の都度、家族の支え、区民皆様方の支援があつて現在があると、改めて感謝の気持ちで一杯であります。

戦前の苦境の中に育ち、戦中第一線に戦い、戦後は日本復興に精一杯活躍して来た私達でしたが、其の繁栄のあとを眼のあたりに見るとき、今心の中に其の幸せを感じます。一日楽しく、抹茶、展示、舞台等を見させて頂きました。敬老会準備関係者のご労苦を謝し心からお礼申し上げます。

文化祭・敬老会を顧みて

教養部

両日は、秋晴れの中、大勢の区民の皆様をお迎えしての文化祭りと敬老会が、盛大に開催されました。

玄関前には、端正に育てられた屋外展示の盆栽、館内へ入れば、茶道部の接待で心温まる一服、二階には手芸・陶芸・編物・生花・絵画・書・下市田の歴史等、個々の努力で成果を上げられ、数多くの作品を展示して頂き、感動と修練の大切さを感じました。

講堂で行なわれた敬老会では、お年寄りの方が大勢出席されて、賑やかに始まりました。

ステージ発表の大正琴・太鼓・民謡(謡)等、前に飾られたシクラメンと共に華麗な舞台発表でした。

飛び入りで参加された方のカラオケも、情感あふれる歌に年輪の重さを感じさせられました。

お楽しみ会では、区民会館下にグランドゴルフコースを作り、和気あいあいとしたプレーが繰り広げられました。PR不足のためか、参加して下さる方が思っ

たより少なく、もっと大勢の方々が参加し、楽しんでもらえるお楽しみ会にという、課題が残りました。



近頃の地域

五区部落長 小川勝司

気と活力のある良
さが揚げられます。
「若妻会」「双葉
会」の若い方達が

下五会館建設以来、クラブ活動の使用が増え一日平均二クラブあり、活気に満ちています。新しくこの地に移られた方も、部落の皆さんと一緒に活動に参加して居ます。五区地籍は国道が真中に有り東西に位置し交通が激しく事故の多い所です。生活の上車が足です。一軒二台が平均です。南部地区が変ろうとして

地域の紹介

出砂原の近況

六区自治会長 北原昌巳

出砂原は、市田駅、明神橋と交通の要を控え、町の玄関口として重要な位置に居る訳であります。現在戸数百五十八戸、その他アパート等ありますが、昭和五十年ころ、二百五十世帯ありましたが、ドーナツ化現象となっております。昨年九月に明神橋の架替工事が完了し、現在取付道路工事が行なわれており、十二月末ころまでに舗装と

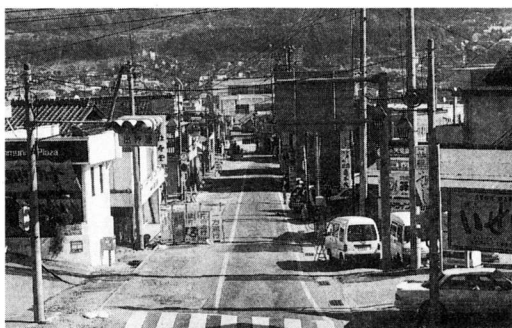


います。道路改良、土地改良、下水道工事並びに坂巻線下、河原に公共下水終末

処理場が建設されます。大掛かりな工事で完成は平成十二年度末頃の予定です。期待され地域が大きく変わろうとしています。農免道路が飯田市と接続され、益々地域と工業団地各社の発展が大きく期待されます。部落内に中商工製作社が七社営業され、部落内の方々が勤められて家庭と地域作りに皆さんが頑張っておられます。又南大島川ふるさと道路が計画されて一五三号線から牛牧、湯ヶ洞、御大の館迄。高森の南玄関口として町、地域の発展に頑張っておられます。

ています。先代が築いてくれたこの行事を継承していくのが我々の務めとしています。今年は天候に恵まれ四万数千人の人出と、花火業者の努力によりみごとな花火が上がり、大勢の観客を喜ばし無事終了できました。

出砂原は現在厚生連診療所があり、今病院化が叫ばれています。昔は競馬場、野球場、組合製糸天童社と時代と共に様変わりして参りました。今老人が二〇％を越す社会になりつつあり、特別老人



町制40周年記念

郷土芸能大会に参加して

保存会獅子部長 上沼眞守

十月十日秋空のもと、町制四十周年記念イベントとして、初めて町内の郷土芸能が一堂に上演された。我々郷土芸能を伝承する者として、このような大会は何よりの発表の場として、とても嬉しく大きな感動があった。萩山郷土芸能保存会は二百年の歴史を持っていて三月に行なわれる大祭に向けて約一ヶ月、毎晩のように熱心な練習が続けられた。前年、獅子頭も新調され、それを機に舞い方も、大先輩の指導を仰ぎ、昔、本来(古来)の姿に戻し、獅子の姿もより一層勇壮になった。今大会に参加するに当たり、連日の特訓に会員の息も一段と高まり何より楽しい雰囲気の中で参加できた事を嬉しく思っています。他区の伝承芸能もとてもすばらしく、時の経つのも忘れて見入っていました。観覧席の人達も、先輩達も若き頃にタイムスリップし、自分をダブらせて、笛太鼓の音(ネ)にのって手を動かし、腰をふりからだ全体



古木英男さん撮影

を揺する姿を見た瞬間(トキ)何とも言えぬ感動を覚えた。下市田の獅子は三人の子供(松王・梅王・桜丸)によって曳かれる姿は他区にない形態でひいき目で見るとは思いますが、とても凛々しく、かわいく映(ミ)えます。最後になりましたが、郷土芸能を伝承する者として後継者育成の為、精一杯指導して参りますので尚一層のご理解をよろしく願います。

よろしくお願ひします

3区 清水 迪夫

この度、下市田に居を構えさせて頂きました清水でございませう。よろしくお願ひします。

私も七戸は地域の方々のご好意をうけ、新たに「大庭常会」を作りまして、

常会を代表して

ご挨拶をさせて頂きます。

七戸はそれぞれ出身地は違いますが、この下市田を



て私達の世代はほとんどが農家で、代掻きから脱穀まで、春蚕から秋蚕まで一年中家のお百姓仕事を手伝いしました。そんな中で田圃でカエルを取ってきて、お尻から空気を入れたり、引き裂いたりして親に叱られると、その夜は一晚中良心に苛まれて眠れませんでした。又蚊取り線香がまだない頃は蚊帳を（なつかしい言葉です）吊って寝ましたが、時々蚊帳の外をホタ

ようこそ下市田へ

していませんでした。かつ

お尻から空気を入れたり、引き裂いたりして親に叱られると、その夜は一晚中良心に苛まれて眠れませんでした。又蚊取り線香がまだない頃は蚊帳を（なつかしい言葉です）吊って寝ましたが、時々蚊帳の外をホタ

はじめまして

4区 中谷 昭一

こんにちは。今年の七月に下市田へ越してきました。中谷です。

まだ越して来たばかりでなにもわからず、不安と戸惑いの毎日、この数ヶ月は周りの風景

の変化にも気付かず、日々を過ごして来ましたが、ふと周りの家々の軒先に干した柿のすだれが、あちらこちらに見られ、又日毎に朝の寒さを感じ、冬も近づいて

いるんだなと、ようやく季節の移り変わりに気が付く。余裕も出来たこの頃です。そんな中、組合にも加入し少しずつ行事に出席させて頂く中で、皆様が親切に接して下さい、人の温かさを感じうれしく思っております。

今は、主人と二人きりですが、十二月には家族が一人増える予定です。初めての子供という事で、なんだかんだと子供の話題ばかりですが、ただ、今は無事生まれて来てくれる事を願っています。そんな期待も大

きい反面不安も大きく心細く思っていた処、近所に小さなお子様のママがいらしゃり、声を掛けて頂き、お仲間が出来てとてもうれしく心強く思っています。主人も出張の多い仕事の為、なかなか地域の皆様方との交流が出来ない事があるかと思いますが、出来る限り地区の行事に参加し一日も早く地域の輪にとけ込んで行きたいと思っております。



区民会館の冬季使用についてお願い

副区長 仲平眞司

区民会館は今春三月竣工以来、区・公民館各機関で使用すると共に、区内各団体・グループ等に供用して居ります。幸い区民の理解を得て充分活用願ひ利用回数も半年間に延二六五回に及んで居ります。これにより区及び公民館の事業運営が円滑に進み、各団体・グループ等の勉強会、研究会、交流会、コミュニティ活動等も一層盛んになり、区民のコミュニケーションの高揚、教養、特技の向上に役立ち、又福祉の増進にも貢献して居るものと思っております。

さてこの区民会館は先輩方により蓄積された区の尊い財産を投じて建立された建物でありますので、永く損壊の無いよう維持すると共に皆が秩序よく利用する為に、区では「区民会館運営規則」「区民会館使用細則」を制定し両規則に則つて利用を進めて居ります。さて秋も深まり寒さも加わって参り、暖房器等も使用する時候となつて来まして、そこで冬季間の使用について特に注意して下さい。

一、先ず暖房ですが、各室共スイッチ一つで暖房器が働くようになって居ります。都合はよいが危険も伴ない、又注意しないと無駄使いになり油代が高額となります。適温に規正し、終わったら必ず止め節約に留意して下さい。

二、戸障子は締めて寒気が中に入らないようにし暖房の効率がよくなるよう留意して下さい。又冬季間に限りませんが戸締りは厳重に、締め忘れが無いように。

三、調理室の水栓も固く締めて下さい。

四、照明用の電気の消し忘れのないように、夜は滅多なことはありませんが、これからは昼でも薄く照明灯をつける場合もあります。厳に注意を。帰りにはトイレも確認を。

五、使用責任を明確にする為、使用簿は必ず記入下さい。

過去に電灯の消し忘れ、暖房器のつけ放しの例があります。厳に注意下さい。

自然を大切に

一區 今村 美代子



に凜と立ち、やがて春、一斉に花開き美しい姿を見せてくれます。散り際の潔さも身をもって人の生き方を教えてくれている様に思えなりません。

この頃テレビや新聞で地球の温暖化と云うことが報道されています。先日もしベリヤの凍土の上に建てられた家の壁や柱が湿気を含んで腐り出し、ボロボロになって居る様子が写し出されて居りました。溶ける筈のない凍土が地球の温度が上がる事によって溶けはじめたのだそうです。真夜中に雲が明るく光って見える夜光雲と云う現象もあちこちで見られる様になり、アナウンサーは地球温暖化への美しき警告かと言っていました。色々な形でSOSや警告を送っている地球、蝕ばまれていく地球を感じない訳にはいきません。

私達の日々の生活の中でどれ程多くのものを自然から与えられているでしょうか。南小の桜は、秋の紅葉の後、全部の葉を落とすと今度は堅い蕾をつけ寒風の中

はどんなに自然に慰められ力づけられて暮らしていることか、又計り知れない恩恵を受けていることか、当

り前に思わないで自然を大切にすることを心がけてゆきたいと思います。身近な生活の中の小さな事、ごみの捨て方、電気、水の使い方等、もう一度見直し皆が

少しづつ気をつける事で、地球の温暖化の歯止めが少しはできるのではないかと思います。

随

想



日日是平安

三區 宮 沢 博



て後ろを振り返って外を見る。いつもの雉鳩が首を長くして私の方を見ている。餌をねだっている姿だ。

前掛けの木屑を落として机の下にある餌を掴み、「コォコォ」といって餌を撒いてやる。雉鳩はその餌を、ついでに、しばらくついでに、だ後、傍らの餌台に備えて

「蘭奢待」

六區 福島 壽子



今日もいつもと変わらない第一日曜の朝が始まった。

バラ園の掃除の後、下水の清掃を行ない、分別収集の缶などを出したあと、一息つきながら教育テレビの日曜美術館を見るつもりでスィッチを入れると、図らずも、正倉院展の案内で、正倉院事務所による宝物中、香に関する特別調査の成果をふまえ香と香具が例年に

ある水を、数回飲んだ後「デデッポウポウ」と鳴いてどこかに飛んでいった。

又、私が庭に出ているとどこで私を見ているのか、どこからともなく飛んできて、フェンス、又は私の足元に舞い降りてくる。「コォコォ」と呼ぶと急いで私についてきて、餌を貰ってさらに水を飲み、暫く木の枝に休んだ後どこかに飛んで行く。

時折、陽当りの良い芝桜の上に伏って、羽根を広げて気持ち良さそうに、羽根の虫干しをしている。安心して居る姿だ。

又、二羽が木の枝に仲良く寄り添って、お互いの羽根を繕っている。微笑ましい姿だ。

それらの雉鳩の姿を、我が家の愛猫のトラ（当年十七歳）が濡れ縁に伏せて、前足に顎を乗せ細い目でじっ

もまして数多く出陳され、中でも「両種の御香」として正倉院の双壁と称えられた全浅香と黄熟香が一堂に会する又とない機会と放送されておりました。会期は十一月十日まで。すぐ出発。

聖武天皇の遺品を収蔵するために建てられたこの建物には、奈良時代の文化を知る重要な資料が多く収納されている。と同時に、日本に伝えられた香の資料の宝庫でもあります。日本にある沈香のなかでもっとも大きいのは、奈良東大寺正倉院に保存されている蘭奢待です。「蘭奢待」という銘

を持つこの香木は天平勝宝八年に光明皇太后が東大寺に献納したときには十三キログラムと記されているが、現在は十一・六キログラムだそうです。歴代の天皇や将軍たちが手柄のあった者に切りとって与えた様で、この黄熟香には足利義政・織田信長および明治天皇がこれを切りとった旨の付箋がつけられていた。

此の黄熟香が「蘭奢待」と呼ばれるようになったのは、中世以後で、蘭の字には、東、奢の字には、大、待という字には、寺、という字、東大寺が隠された雅号であることも知りまして、書物で知るばかりでなく本物の香木に会えて、うっとり満腹の一日でした。

と見つめている。平和な姿だ。この雉鳩は、ひと組の番と、一羽の独身の計三羽が私を楽しませてくれている。この三羽は同時に遊びに来た事はない。番は連れ立ってくるが、一羽だけは淋しそうに来る。なぜだ。

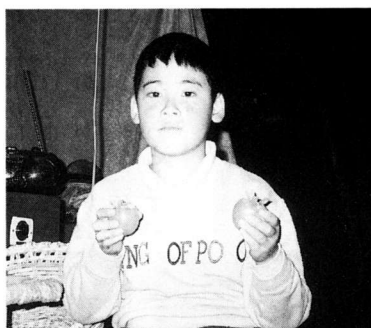
休めていた仏像を彫る手を進めた。どのような姿の仏様が彫れるかを想い…。念彼観音日日是平安

わたしの作文 ぼくの作文



かきとり

小四 池田 聡史 (四区)



聡史くん

お父さんの手つだいで、かきとりをしました。家からはなれている、学校の近くの畑にトラックで行きました。はじめのうちは、お父さんは、三きやくを使って高い所のかきをとって、ぼくは、低い所のかきをとりました。ピクをこしにさげてとってはいれました。何回か低い所をとった時より高い所をとった時の方が、ながめ

がよく気分よくとれました。とっている所のかきがいいたいと終ったら、場所をいどうしました。その畑には、かきの木が全部で十五本くらいあります。今日は二、三本のかきの木のかきをとりました。とちゅうで休けいも入れながらやりました。日が当たっていてあたかかったけど、風がふいた時は、少し寒かったです。午前中だけで、コンテナ九こ分くらいとれました。家に運んで皮をむくのも手つだいました。今年から新しい機械になったので、ぼくでもできます。早くほしががけるといいな。

高森中に来て

中二 小川 敏英 (二区)

私は、この春転校してきました。学校が始まる前は、べつに高森中のことを何とも思っただけなんです。教室で紹介されたときは、すっごく緊張して、自分が何を言っているのか、分からないくらいでした。学校の広さも、前にいた南木曽中学校よりぜんぜん広くて、最初のうちは、教室もわからないくらいでした。何も

分らない私に、優子さんと夏末さんがいろいろ教えてくれました。優子さんと夏末さんだけでなく、こんどはみんながいろいろ教えてくれました。部活には、美術部に入りました。思っていたよりも楽しい部でした。十月十七日・十八日と文化祭がありました。南木曽中よりも規模が大きく、ク



敏英さん

ラス展示とか部展もぜんぜんちがって本格的で、とくに音楽会がすごかったです。私のいるクラスの二年一組は、五組あるうち、金・銀の銀賞を取りました。十一月に入って焼きいも大会をクラスでやりました。一生けんめい学級園で育てたものは、とてもおいしかったです。高森中に来ていろんな事がありました。みんなが、ていねいにいろいろ教えてくれました。最初は高森

ぼくとラグビー

小六 小川 将太 (五区)



将太くん (前列監督の左)

ぼくがラグビーをはじめたきっかけは、お父さんがラグビーをしていて、小さなころからよく、ラグビーを見につれて行ってくれました。そして、「ラグビーって、すごいな」と、思ったのがきっかけです。

今、ぼくはスポーツ少年団のラグビーに入っています。毎週日曜日の朝に、町民グラウンドで、ラグビーの練習をしています。メンバーは、小一から中学生です。年に五、六回試合があります。それから、夏休みには、キャンプをして、合宿をします。テントを張ったり、夜は、キャンプファイヤーをしたりして、楽しいです。冬は、元旦ラグビーでお父さんやお母さんと、試合をしたり、スキーに行ったりします。また、たまに、試合の後に、温泉に行ったり、プールに行ったりして、楽しいです。今年、今まで、強くて勝てなかった、上郷ラグビー

グループ紹介

ふつき会

五区 手塚律子

早いもので十六年前になりました。私達もなにか勉強会をと話が始まり、お花

を習ったらどうかと武陵地一二の常会の皆さんに話かけ大勢の人が集って来ました。土屋あや先生をお願いする事もでき軌道に乗る事ができたのです。次にグループの名前です



花も少し習いました。今ではおにも自由花を練習しています。だんだんはなれていく人もでき、今では十一名となり年齢も二十歳も年の離れたグループですが、若い方達と和気あいあいとしたしく勉強しています。お花をいけながら季節の話をしたり、世間話でもできるようになりました。飯

田に華道展があれば極力見学させていただき、勉強に努めています。下市田の文化祭にも幾度も出品して、まだまだ力不足ですが協力しています。

あさぎり会

六区 下平 菊

私達あさぎり会は誰でも何時でも入れる会です。最初は婦人会の研修旅行(萩津和野方面)に参加した人達の思い出が聞かれました。その中で旧役員を中心に是非、又一緒に話し合う会を続けたい、又、婦人会や地域の事業に協力していきましようとの話が進み、会が出来て五年になろうとしています。

月一回集まってお茶を飲みながら話し合っていました。私達も元気なうちに何か地域にお手伝いをすることは無いかとの声が出て来ました。当時、民生



「ミュージカルの風車作り」

又おたのしみ会も、新年会、暑氣払いを八月に、忘年会と会所でささやかにたのしんでいます。何時までもつづく事を願っています。

委員をなさっていた松下さにご相談にお伺いしたところ、大変喜んでいただき種々アドバイスをいただきました。何時でも、何処でも、誰でも出来ることをす

ます。春は桜を見て楽しんだり秋は山行きと、盛り沢山の行事に参加しています。又、時には社協の事業にも参加しています。

これからも元気で一人でも多く地域のボランティア活動に参加して、永く続けて行きたいと願っています。

訂正とお詫び

前号(三八号)五ページ獅子曳きの記事中次の誤りがあったので、お詫びして訂正いたします。

誤 正

松王丸↓松王
梅王丸↓梅王

編集後記

「〇〇の秋」秋は好時節。町・区から各種団体に至るまで行事が目白押し。特に今年は、町制四十周年の記念行事もあり更にそれに拍車をかけた感も。区や公民館の行事は、準備を二カ月前から始めるので、一つ終わってから次では間に合わない。同時平行して進めている。区報の編集もそれらの中へ割り込んでいます。区報を発行するまでには、編集計画・レイアウト・原稿依頼・原稿提出・原稿の推敲・レイアウト修正・印刷所届け・校正・再度印刷所へ・印刷完成・常会別配布仕分け作業・代議員会へ・各部落へ・常会長・各家庭へ。およそこんな順序を経ても作れる。区報一つでも作り上げるのには多くの手がかるが分担協力しあうてできる。

年末は、印刷屋さんも込み合うので早めに原稿を届けなければ期日に発行できないので寄稿者にはご無理をお願いしてお詫しを。編集委員も公民館部員が担当し、いろいろ兼務でがんばっている。